

さくらの杜プロジェクトでは、市内の事業者20社が中心となって、市や県と連携しながら桜の植樹活動を進めています。

3千本の植樹、東北随一の桜の名所を創り上げることを目標に、主に川原川、気仙川沿い、高田松原津波復興祈念公園や運動公園への植樹を通して、震災前の“桜の風景”の復活、復興の先を見据えた新たな名所づくり、観光客や市民の回遊促進など未来ある持続可能な陸前高田の実現を目指しています。

令和6年3月から、これまでに市内外から延べ300人以上の人が植樹会に参加し、約230本の桜を植樹しました。これからも皆様のご参加とご協力をお待ちしています。



①運動公園

毎年3月に、その年の卒業生を対象に「卒業記念植樹祭」を開催しています。

過去2回の植樹祭で80本近い桜並木が出来上がり、今春もかわいらしい花をつけてくれました。



②今泉地区

姉齒橋下流の駐車場周辺に、大勢の地域の皆さんや市外の大学生と30本の苗木を植樹しました。



③運動公園 (こども広場付近)



④まちの縁側 (陸前高田駅付近)



植樹祭の開催、活動や開花状況など、最新の情報はこちらから

ホームページ



Instagram



大学生まちづくりインターン チェンジメーカースタディープログラム 春の報告と夏に向けて

大学生まちづくりインターン「チェンジメーカースタディープログラム (CMSP)」は、市外の大学生が陸前高田のことを学び、地域の皆さんと交流し、この地域だからこそできることを行うプログラムです。

平成25年から陸前高田で年2回(8・9月および2・3月)行われてきたプログラムですが、現在は、広田町、小友町、矢作町、横田町、気仙町の5地域で活動しています。

この春は、2月末から3月中旬にかけて、総勢約40名の大学生が3町(広田町・横田町・気仙町)に分かれて地域の皆さんと活動を行いました。広田町では、地域での学びや感謝を新聞とラジオに載せてお届けしました。気仙町では、町の魅力や想いを桜の形にかたどった紙に書き、満開の桜を咲かせました。横田町では、オリジナル鍋焼きを作り、川の駅で販売できるかななどを検討しました。これからも、交流から地域の皆さんへの想いを発掘し、大学生の想いとも掛け合わせながら地域を盛り上げる活動を行っていきます。

6月からは、8・9月のプログラム本番に向けて、大学生が月に1回程度地域を訪問する予定です。ぜひ大学生に陸前高田の歴史や伝統文化などを教えていただけると幸いです。

次の日程で大学生が町を訪問します！ぜひ交流を楽しんでみてください。

大学生の訪問日程

気仙町	横田町	広田町
6月6日(土)・7日(日)		
6月27日(土)・28日(日)		
7月18日(土)・19日(日)		
8月4日(火)～10日(月)		8月6日(木)～12日(水)
8月21日(金)～9月1日(火)		8月28日(金)～9月8日(火)
9月26日(土)・27日(日)		



地域の魅力について話し合いました (気仙町)

竹を使って地域の皆さんと流しそうめんづくり (広田町)



農業のお手伝い (横田町)